**鹿児島県球温暖化対策推進条例に基づく**

**温室効果ガス排出量削減計画に関する対策実施状況調査票**

■はじめに

県では，鹿児島県地球温暖化対策推進条例（以下，「条例」という。）第33条の規定により，温室効果ガス排出量削減計画を提出したもの等のうち，温室効果ガスの排出の量の削減等に取り組む事業者等を表彰することとしています。

本調査は，令和５年度に計画期間を終了した事業者等を対象に，表彰の検討に必要な取組状況を把握するために行うものです。

なお，表彰の選考については，本調査票に基づく取組状況のほか，条例第15条に基づく実施状況報告書の内容（計画期間における温室効果ガスの削減）も併せて勘案します。

■御記入上の注意

* 御回答は，**地球温暖化対策やエネルギー管理の責任者の方**にお願いします。
* **令和５年度末時点での**対策実施状況を御回答ください。
* 本調査の御回答内容は表彰の目的にのみ利用します。ただし，表彰対象事業者の御回答は，御了承をいただいた上で，地球温暖化対策の取組事例として回答の一部を公表させていただく場合がございます。その場合は，改めて御連絡いたします。
* 御回答は**令和６年１１月２２日（金）**までに，当室宛てFAX又はE-mailでお送りいただくか，もしくは下記住所まで御郵送ください。
* 御不明な点がございましたら，下記担当まで御連絡ください。

■本調査の問合せ先

〒890-8577　　鹿児島市鴨池新町10番1号

鹿児島県環境林務部　環境林務課　地球温暖化対策室　担当：池田

電話： ０９９－２８６－２５８６

FAX： ０９９－２８６－５５３９

E-mail：**epchikyu@pref.kagoshima.lg.jp**

1. 貴者の概要について

# 本調査票のご回答の内容について，後日，照会させていただく場合がございます。ご回答者様の連絡先を以下にご記入ください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業者の名称 |  | | | | |
| 主たる事務所の所在地 |  | | | | |
| 担当者連絡先 | 回答責任者名 |  | | | |
| 所属・部署名 |  | | | |
| 電話番号 |  | ＦＡＸ番号 |  | |
| E-mailｱﾄﾞﾚｽ |  | | | |
| 主たる業種 |  | | 中分類番号（二桁） |  |  |

1. 事業の用に供する自動車及び低公害車の種別ごとの台数について
2. 事業の用に供する自動車及び低公害車の種別ごとの台数についてご記入ください。

| 自動車の種別 | | | ①軽自動車及び乗用車並びに乗合自動車及び貨物自動車で車両総重量３．５トン以下のもの | ②乗合自動車及び貨物自動車で車両総重量３．５トン超，１２トン以下のもの | ③乗合自動車及び貨物自動車で車両総重量１２トン超のもの | 合計 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|
| 低公害車 | 1 | 燃料電池自動車 |  |  |  |  |
| 2 | 電気自動車 |  |  |  |  |
| 3 | 天然ガス自動車 |  |  |  |  |
| 4 | メタノール自動車 |  |  |  |  |
| 5 | ハイブリッド自動車 |  |  |  |  |
| 6 | 特定LPG自動車 |  |  |  |  |
| 7 | 特定ディーゼル自動車 |  |  |  |  |
| 8 | 低排出ガスかつ低燃費車 |  |  |  |  |
| 低公害車のうちアイドルストップ機能を装着する自動車 | |  |  |  |  |
| 低公害車の台数 | | |  |  |  |  |
| 低公害車以外の自動車の台数 | | |  |  |  |  |
| 低公害車以外の自動車のうちアイドルストップ機能を装着する自動車 | | |  |  |  |  |
| 事業の用に供する自動車の台数 | | |  |  |  |  |

低公害車の種類

①燃料電池自動車 ②電気自動車 ③天然ガス自動車 ④メタノール自動車 ⑤ハイブリッド自動車⑥特定LPG 自動車 ⑦特定ディーゼル自動車（新長期規制・ポスト新長期規制適合の3.5 ﾄﾝ超のトラック・バス） ⑧低排出ガス車かつ低燃費車（☆，☆☆，☆☆☆，☆☆☆☆）

注）⑥：ディーゼル車から改造したトラック・バス，又はタクシーとして使用する乗用車に限り認定

　　⑦：新長期規制（17 年排出ガス基準）・ポスト新長期規制（21･22 年排出ガス基準）適合のトラック・バス

　　⑧：排出ガスが最新規制基準（12・17 年基準）から一定レベル以上に低減されていると認定された自動車

1. 主な取組みについて
2. 下記の取組み内容について，貴者の状況に該当する数字に一つ丸をつけてください。

| 項目 | 対策内容 | 取組内容 | 判断基準 | 実　施　済 | 一部実施済 | 未　実　施 | 非　該　当 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 一般管理事項 | 推進体制の整備 | 省エネ活動推進のための体制は確立されていますか。 | ・事業者における推進体制と役割分担を示す資料がある。 ・活動記録がある。 | 1 | 2 | 3 |  |
| 車両台帳の整備 | エンジン型式，保安部品，付属装置等を記録した車両台帳はありますか。 | ・台帳が存在する。 | 1 | 2 | 3 |  |
| 車両運用管理 | エネルギー使用量等の把握 | 燃料使用量及び走行距離が車両別に定期的に把握されていますか。 | 自動車ごとの走行距離，エネルギー消費量等のデータを定期的（月ごと，日ごと）に把握指定，記録している。 | 1 | 2 | 3 |  |
| 効率的な自動車運用 （貨物自動車運送事業のみ） | 使用目的に応じた適正な自動車を使用し，運用管理を行っていますか。 | 便数削減等，効率的な輸配送推進のための車両の大型化を行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 適切な走行ルートを選定していますか。 | 事前に目的地までの効率的なルートを選定し，運転者に伝える仕組みを整備している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 積載効率の向上のためのシステムを導入していますか。 | 車載端末・パソコンによる配車システムの導入・拡大を行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| エコドライブの推進 | エコドライブに関する体制，マニュアルが整っていますか。 | エコドライブ推進に関する責任者の設置，マニュアルの作成等，エコドライブに関する推進体制を整備している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 定期的にエコドライブに関する講習等を実施していますか。 | エコドライブ講習等を実施し，従業員に対するエコドライブの周知・教育を定期的に行っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 車両運用管理 | エコドライブの推進 | アイドリングストップ推進活動を実施していますか。（機能未装着車運転時） | キー抜きロープの導入やアイドリングストップ宣言のステッカー貼付け等のアイドリングストップ推進活動を実施している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 優良ドライバー表彰，社内コンテストの実施等，エコドライブ促進のために全社で取り組んでいますか。 |  | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 車両整備 | 適切な維持管理 | 車両の使用状況に応じた定期整備期間の見直しを行っていますか。（噴射ポンプ，プラグ等） |  | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 適切なタイヤ整備（空気圧点検，ローテーション等）を実施していますか。 |  | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 設備導入 | 低公害・低燃費装置の導入 | エコドライブ記録装置の導入を行っていますか。 | デジタル式記録装置の活用等により，エコドライブの確実な推進を図ったか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 車両の使用状況に応じたタイヤの導入を行っていますか（エコタイヤの導入等）。 |  | 1 | 2 | 3 | 4 |

1. 事務所における取組み内容について，貴者の状況に該当する数字に一つ丸をつけてください。

| 項目 | 対策内容 | 取組内容 | 判断基準 | 実　施　済 | 一部実施済 | 未　実　施 | 非　該　当 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 一般管理事項 | 事業所に設置された台帳の整備 | 主要設備の最新状況を反映した機器台帳はありますか。 | ・機器台帳の整備  ・現在の状況に改訂している。  ・改訂履歴がある。 | 1 | 2 | 3 |  |
| 事業所全体のエネルギー使用量の把握，管理 | エネルギーの使用量が設備別（設備群別），工程別，使用目的別等で把握・推計されていますか。 | 機器台帳に記載されている設備（群）ごとにエネルギー使用量が推計されている。（蒸気・圧縮空気・冷水等の二次的なエネルギーを含む） | 1 | 2 | 3 |  |

1. その他，事務所における取組内容がありましたらご記入ください。

|  |
| --- |
| 記入欄 |

1. 注力している取組について

## 「３．主な取組について」で実施済とした対策や，その他の独自の対策の中で，令和５年度末までに特に注力した取組があれば詳細を記入してください。計画期間前の取組でも構いません。その場合は実施時期を併せて記入してください。

## 本設問は表彰の審査にあたって回答内容を詳細に拝見させていただきますので，できる限り具体的に記入をお願いします。なお，選考に当たっては，以下のような観点を重視することとしていますので，積極的に記入してください。また，これ以外にもアピールしたい観点があれば，併せて記入してください。

## ○  独自性：他の事業者には無い対策や，より踏み込んだ取組をしているか

## ○  先進性：取り組んだ対策が先進的か

## ○  効率性：取り組んだ対策が削減効果に対するコストや労力の観点で効率的か

## ○  実行性：組織的・全社的な活動であるか

## ○  継続性：継続的な事業活動に織り込まれているか

|  |
| --- |
| 記入欄 |

1. 課題について

## 貴者における脱炭素社会づくり（温室効果ガス排出量削減など）に対する取組の現状を踏まえ，現在，課題として挙げられるものがあればご記入下さい。

|  |
| --- |
|  |

**～　調査票は以上です。ご協力ありがとうございました。　～**